

【議事概要】第 37 回 浜田市行財政改革推進委員会

日時:平成 28 年 3 月 2 日(火)15:00～

場所:浜田市役所本庁 4F 講堂

出席者

- 【委員】大橋敏博委員、光延忠彦委員、~~岩谷百合雄委員~~、榎岡正明委員、宮内浩二委員、小松文男委員、~~大谷克雄委員~~、花田香委員、賀戸ひとみ委員、細川良一委員、~~玉置龍一委員~~、芳川榮佑委員、熊谷富雄委員、加藤喜六委員、市山多津子委員、下谷巧委員、佐古肇徳委員、
- 【市】副市長、~~教育長~~、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、都市建設部長、~~議会事務局長~~、教育部長、消防長、上下水道部長、広域行政組合事務局長、金城支所長、~~旭支所長~~、弥栄支所長、三隅支所長、~~市長公室長~~、総務課長、財政課長、~~人事課長~~、行財政改革推進課長
-

1 協議事項

①浜田市行財政改革実施計画(案)について

資料について事務局から説明後、委員から、質疑を受けた。

※ 質疑の詳細については、別紙のとおり

②浜田市公共施設再配置方針(案)について

資料について事務局から説明後、委員から、質疑を受けた。

※ 質疑の詳細については、別紙のとおり

③浜田市第 1 期公共施設再配置実施計画(案)について

資料について事務局から説明後、委員から、質疑を受けた。

※ 質疑の詳細については、別紙のとおり

2 その他

委員意見等【行財政改革実施計画関係分】(要点筆記)

委員意見	浜田市回答
<p>H28 年度予算にふるさと寄附は盛り込まれているのか。</p> <p>ふるさと寄附はあてにはいけないお金だと思う。</p>	<p>H27 年度当初予算で 5 億円盛り込んでいたが、現在 2 月中旬で 20 億円を超えている状況。そんな中、H28 年度予算は今年度実績の約半分の 10 億円としている。</p> <p>年々減ってくる見込としており、H29 年度は 8 億円としている。その結果、H33 年度までの行革効果額の累計は 17 億円を計上している。</p> <p>ふるさと寄附は寄附者の意志に沿った 5 つの目的の事業の財源に充てることが可能としている。この 5 つの目的の事業に充てることによって生じる一般財源の削減分を行革の効果額としている。</p>
<p>現職の市職員がどの団体にどの程度出向しているのか。</p> <p>民間委託でいいのではないか。例えば観光協会は利益を第一に考えている。行政職員が出向しても費用対効果が出ない。</p> <p>前回の推進委員会で産業経済部長が広島市場開拓室について説明された。しっかりアプローチしていて成果も出ているということだったが、ここには行政職員として行っているのか。それとも浜田市に利益をあげるために行っているのか。事務的な事務所に行政職員が行っているとしても費用対効果はしっかり見ていかないといけない。</p> <p>「毎年 3 千万円近くかけて全くアプローチしていない。浜田市のためになっていない。」という気持ちが市民の中にあるなら注視しないといけないのではないか。</p> <p>売上額だけ見ても、魚は漁船が取るのでただではない。人件費・仕入れ値などを含めた費用対効果を考えるといくらかない。年間 200～300 万円の利益では何もならない。その辺りの努力もお願いしたい。</p>	<p>観光協会、国、県大、県(産業関係)、後期高齢者医療広域連合などへ、10 人前後が出向している。(広域行政組合(介護保険・ごみ)を除く。)</p> <p>行政として公共の福祉、市民のためにという事が大前提であり、浜田市民の福祉・幸福の向上を目指している。</p> <p>販路開拓の成果をここで具体的には示せないが、浜田の農林水産物等の新規開拓にも取り組んでいる。</p> <p>初年度は当初予算として 3 千万程度要求していたが、最終的に 2 千万円弱で収まった。</p> <p>行革にも上げているように更に縮減するべく取組として計画している。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>中期財政計画にH33年度には財政調整基金が1億円しか残らないと書かれていたが、27億円あるという話もあった。どちらが正しいのか教えていただきたい。</p> <p>財政状況に余裕がないなら、もっとスピードを上げてハコモノの整理をやらないといけないのではないか。</p>	<p>H28年度の中期財政計画では累積で42億円の赤字となるとしている。その際、財政調整基金が43億円あることから、そこから赤字補すると、H33年度には1億円しか残らないという計画となっている。</p> <p>この計画には、行革による効果額が盛り込まれておらず、今回お示した行革による約27億円の効果を反映させることで、H33年度の財政調整積金は28億円残ることになる。</p> <p>ただ、H33年度の実質単年度収支は14億円の赤字であり、これが続くと2年しかもたないことになる。</p> <p>H35年度からは中電の火力発電所関係の固定資産税等が入る事も見込まれているが、今の状態をそのまま続けることは難しい。</p> <p>H33年度には合併算定替の縮減により、地方交付税が13億8千万円減らされる。そうなるのと、どこかできちんと財源効果を上げなければならず、そのためにも今後いろんな行革を進めていかないといけない。</p> <p>また、この実施計画をしっかりと取り組まないと27億円の効果も上がらない。まずは、この実施計画を着実に実行するとともに、ローリングしながら更に厳しい行革をやっていかざるを得ないと思っている。</p> <p>当面はなんとか財政運営できるが、今後は、しっかりと取り組んでいかないと間に合わなくなると思っている。</p>

委員意見等【公共施設再配置関係分】(要点筆記)

委員意見	浜田市回答
<p>第 1 期公共施設再配置実施計画 105 ページの雲雀丘小について、地区が「石見」になっている。平成 27 年 1 月より地区を「浜田」に変更したはず。分かったところから訂正していただきたい。</p>	<p>ご指摘のとおりであり、修正したい。</p>
<p>先般作成した公共施設等総合管理計画の内容は、今回の第 1 期公共施設再配置実施計画に盛り込んであるのか。</p>	<p>公共施設等総合管理計画において示した更新投資可能額 19 億円については、実施計画においても限度額としてその金額を用いている。ただし今後の財政状況等に伴い変動していく可能性があると考えている。</p>
<p>先般新聞報道にて、金城支所・旭支所の庁舎が「耐震性なし」とあったが、今後の方針を教えてください。</p>	<p>第 1 期公共施設再配置実施計画 154 ページに金城支所庁舎についての今後の具体的計画についての記載があるが、耐震診断の結果を受けて、「耐震補強工事を実施するか、それとも複合施設等を建設するかなど、全支所の庁舎の方針を決定する」としている。</p>
<p>今後実質公債費比率もあがる見込みがある中、支所にあまり遠慮することなく進めてもらいたい。また、公民館や図書館も、効率がよいように支所の周辺にまとめていく必要がある。例えば、各地区にはおでかけバスというものが運行されている。朝や夕方は通学で使われているが、日中はひとりも乗っていない。廃止するかどうかの議論になると、乗らない人に限って反対する。そういう小さいところからも行革を進める必要がある。反対があるからとサービスの手を広げるのはいかなものかと考えている。</p> <p>将来を担う若い市民のためにも財政的に無理をしてはいけない。</p>	<p>応援団としてのメッセージと受け止めさせていただく。もちろん住民の方との協議はしっかりとしていく必要があるが、そのような気持ちでやっていきたい。</p> <p>こういった話とはかく総論賛成・各論反対に陥りがちだが、応援的なお言葉をいただけると心強い。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>公民館の分館について、地元で運営を任せる費用として 50 万円という数字が出た。自分も原井の公民館を運営しているが、市から一銭ももらっている訳ではなく、不公平だと感じたことがある。瀬戸見の集会所などは、市が建てて、管理運営も市が行っていると聞いた。集会所の線引きが分かるようにしてほしい。</p> <p>原井の公民館も市の所有財産である。</p> <p>耐震の対象にもなっておらず、規制上大掛かりな補修はしてはいけないと言われた。昨年屋根は助成金をもらって修繕したが、壁は建築基準法上さわってはいけないと言われた。いつまで持つかも分からず、地域で集まる場所がなくなることを懸念している。</p>	<p>自治公民館というのは、町内や自治会で建てられたものであり、分館は元々学校統合に伴う地元要望により、市営の公民館にしたもの。しかし分館は浜田自治区にしかないこともあり、合併後 10 年経過するということから、全市整合を図っていこうという方針のもと、平成 27 年度から地元で管理を委託している。今後は地元で譲渡していくという方針で、行革を進めていきたいと考えている。公共施設である分館と、地元で建てた自治公民館とは扱いが異なり、また瀬戸見の集会所も国の補助金を活用して市が建てた公共施設となっている。</p> <p>市の普通財産であり、地元要望により無償貸付けをしている。管理運営費は一切使用者負担として契約書を交わしており、現時点で公共施設(行政財産)である分館とは扱いが一緒になるものではない。</p> <p>施設を所管している行財政改革推進課に個別の案件としてご相談いただきたい。</p>
<p>中期財政計画のなかにも新規に整備する予定のものがある一方で、こちらの計画では減らすという方針がある。そうであれば、建物や土地を売ったお金で新規整備の費用に充てるなどの工夫が必要。その順序が逆になると、絵に書いた餅になってしまう可能性がある。</p>	<p>行革を進めるにあたってはそのような視点は大切にする必要がある。建物だけでなく、土地も譲渡等ができれば固定資産税も入ってくるため、土地の処分も含めて考える必要があると考えている。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>第1期公共施設再配置実施計画巻末のA3版資料の一覧に、第一中学校「廃止（耐用年数経過後）」とあるが、どういう意味か。また複合化とはどういう意味か。</p> <p>そういう意味ならA3の表記を修正したほうがよい。一覧だけで見た際に誤解を招く。</p>	<p>小中学校における複合化の考え方については、放課後児童クラブや公民館などを想定しており、具体的には学校統合計画審議会の中で複合化も含めて検討していくことになる。第一中学校の「廃止（耐用年数経過後）」については実施計画119ページにあるとおり、赤レンガの体育館のことを指す。 （行財政改革推進課長）</p> <p>補足すると、実施計画においては、1施設につき、6つまで棟が分けて記載できるレイアウトになっている。今回小中学校については、複数ある棟のなかで、耐用年数のフィルタで拾ったものが基本的に掲載されており、第一中学校は赤レンガの体育館のみ該当したため、「廃止（耐用年数経過後）」という方針になったもの。</p> <p>見開き2ページの表記と整合をとったものであるため、表現の仕方については検討したい。</p>
<p>分厚い実施計画はよくできているが、実現できなければ意味がない。給食センターの統合は以前から議論があるが、いつまで待たせるのか。このようなことも実現できない状態で、公共施設だ、行革だと計画を立てても、絵に描いた餅になってしまう。</p>	<p>本年度中に方針を示す予定だったが、今議会の代表質問でも答弁したとおり、平成21年度に地産地消推進条例が制定され、また今議会に地域資源活用推進条例も提案されており、地産地消・食育など含めて2～3年は様子を見たいと考えている。</p> <p>これまで行革推進委員会の中でも行政評価という形で施設ごとの評価を行い、学校給食センターの統合については55億円削減計画のなかに盛り込んで議論してきた経緯があるが、総論は賛成でも、各論になると反対となり、これまでも計画が進まなかった経緯がある。そうはいつても、今後計画を着実に進めないと財政が持たないのも目に見えているので、今後はしっかりと庁内の検討部会でたたいて、その後外部委員さん含めた形で検討し、なによりも地元の方にしっかりと納得していただく必要があるため、そのためにも行革推進委員の皆さんにもご協力をいただきたい。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>当行革推進委員会に所属している反面、浜田城周辺整備検討会にも所属しており、こちらでは財政的に厳しいという議論の一方で、あちらでは開府 400 年ということで神楽館など新しいものを作ってほしいという話が出る。両方に参加して聞いていると、行革で苦労した成果が帳消しになってしまうのではないかと危惧している。神楽を舞って、その収入で建物が維持していけるのであればよいが、負の遺産を増やすような気がしてならない。ここで議論している話も是非聞いてほしい。そもそも神楽はお宮でやるのが本来の姿であり、決してショーではない。皆さんの努力を帳消しにしたくない。慎重な判断をお願いしたい。</p>	<p>神楽だけでなく多目的な形で使えるようにという議論もあるため、検討委員会の中でもう少ししたたく必要があると考える。ただ、公共施設の方針においても、政策的に新たな施設を整備する場合は、見合い分は削減するという方向性のため、ビルドがあればスクラップがあるのは必須であり、新たな整備をする際には、既存の郷土資料館などは廃止にし、ひとつにまとめていかないとご理解いただけないだろうと考えている。また、維持管理経費についても、若干増える部分はしっかり査定していく必要がある。</p>
<p>先日開催された浜田城周辺整備検討会の中でも、行革に関わっていない若い方は、どうしても遊ぶ場所やレクリエーションの整備を望む声が多い。浜田市では様々な委員会を所管していると思うが、そこで出た意見などをインターネットなどを通して見られる環境はあるのか。</p>	<p>市が市民の皆さんにお考えを聞かせていただく会議はすべてホームページに掲載されているので、ご確認いただきたい。</p>
<p>行財政改革推進課は計画をつくるのが仕事なのか、あわせて進捗管理までも行うのか。</p>	<p>各担当課のとりまとめを含む計画作成だけでなく、進捗管理も当課で担当している。もちろん計画が達成できなかった場合もあると想定されるが、理由を含めて分析し、当行革推進委員会等の中でお諮り、報告していきたいと考えている。</p>
<p>「普通財産無償貸付の弾力的運用」の中で、解体経費は市が負担とあるが、財政計画のなかで起債の活用含め、どのように財源確保をしていく予定なのか。</p>	<p>中期財政計画の中においては、毎年ローリングする中で、一番有効な財源確保を検討し、計画を立てている。解体経費についても案件が出た時点で検討していきたい。</p>
<p>いつもお金がないという話が前提の議論になるが、人口を増やす、産業を活性化させるといったもう少し前向きな会議、議論はないものか。</p> <p>また、正直他の自治区の施設のことは分からない。この人数で短い時間の中で議論しろと言われても限界がある。</p>	<p>自治区を代表して委員会に出ていただいているが、浜田市全体としてとらえていただきたいという意味で、浜田市全体のものをお示しさせていただいている。また、まちづくりについては昨年総合振興計画の委員会の中で議論していただいて策定したこともあり、当行革推進委員会の中では、行革に特化した議論をいただくという住み分けをさせていただきたい。</p>